

平成28年 山武市教育委員会第6回定例会 会議録

日 時 平成28年6月15日（水）午後1時30分
場 所 山武市教育委員会庁舎会議室
招 集 者 山武市教育委員会 委員長 小野崎 一男
議 題 議決事項

- 議案第1号 山武市教育支援調査研究員設置要綱の制定について
議案第2号 山武市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について
議案第3号 山武市教育支援委員会委員の委嘱について
議案第4号 山武市学校のあり方検討委員会委員の委嘱について
議案第5号 学校施設環境改善交付金交付要綱に基づく施設整備計画の事後評価の報告について

報告事項

- 報告第1号 山武市議会第2回定例会の報告について
報告第2号 平成27年度学校評議員事業報告について
報告第3号 山武市小学校陸上競技大会結果について
報告第4号 山武郡市小学校陸上競技大会結果について
報告第5号 平成28年度山武市少年海外派遣事業申込状況について
報告第6号 行事の共催・後援について
報告第7号 7月の行事予定について

【追加報告】

- 報告第8号 山武市教育委員会事務局職員の任免について

出席委員 委員長 小野崎 一男
委員長職務代理者 高柳 善江
委員 五木田 孝義
委員 今関 百合
教育長 嘉瀬 尚男

欠席委員 なし

出席した職員の職及び氏名

教育部長 小川 雅弘
教育総務課長 伊藤 かほる
学校教育課長 井上 博文

| | |
|-----------|-------|
| 学校教育課指導室長 | 織本 富生 |
| 生涯学習課長 | 越川 正 |
| スポーツ振興課長 | 所田 吉泰 |
| 松尾公民館長 | 鈴木 昌子 |
| 子育て支援課長 | 秋葉 絹 |

事務局

| | |
|---------------|--------|
| 教育総務課副主幹 | 小関 正徳 |
| 教育総務課総務企画係主査補 | 鈴木 慎太郎 |

◎開 会

○小野崎委員長が挨拶し、午後1時30分開会を宣する。

◎日程第1 会議録署名人の指名

○小野崎委員長が議長となり、今関委員を指名する。

◎日程第2 会議録の承認

小野崎委員長 平成28年教育委員会第5回定例会及び第4回臨時会の会議録について、事前に配布してありますがいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

小野崎委員長 異議がないようなので、平成28年教育委員会第5回定例会及び第4回臨時会の会議録は承認いたします。

◎日程第3 教育長報告

小野崎委員長 教育長報告。教育長からお願いします。

教育長 それでは、資料の1ページ目になります。よろしくお願ひします。5月19日から本日までの内容になります。

5月19日、山武市教育研修会総会が、のぎくプラザで開催されました。

同日夕方、規模適正化・適正配置基本計画(案)に関する説明会が成東中学校で開催されました。このとき、保護者以外の方から出席したいという要望を受けまして、そのときには許可をいたしましたが、実際にはその説明会の中で、途中から割って入るような形で自分たちの主張を発言し始めたりしたため、参加している保護者の意見が十分に出せず、校長先生のほうから会の趣旨がずれてきてしまっているというような発言があり、会の混乱を招いてしまったということがございました。その会の終了後に、参加した保護者の方から、今後、外部の人は入れないでほしいというような要望を受けました。今後は、十分に注意をしていきたいというふうに思っております。

20日、手をつなぐ親の会の総会、地区教育委員会連絡協議会の表彰式・総会につきましては、委員の皆様にも出席をいただいております。

同日、山武郡市広域行政組合教育委員会会議の臨時会がございました。これは、視聴覚教材センター、それから教育相談センターの

運営委員の委嘱についてということでございました。

21日、東金特別支援学校の運動会がございまして、行ってまいりました。その後は、規模適正化・適正配置基本計画（案）に関する説明会ということで、松尾小学校で開催され出席しております。

22日、山武市ボランティア連絡協議会の第11回総会に出席しております。

23日、教育委員会事務の点検・評価ということで、1日目の部内評価が行われました。

24日には、同じく部内評価の2日目の開催がございました。

同日夕方に、市の教職員組合の総会が教育会館のほうでございまして、出席してきております。

25日、東上総教育事務所の所長訪問で、蓮沼小学校、蓮沼中学校に行っております。この日、庁議がございましたが、所長訪問を優先させていただいて欠席いたしました。

26日、校長面談ということで、これは目標申告に関する面談の1日目でございます。同日、同じく規模適正化・適正配置基本計画（案）に関する説明会が、緑海小学校で開催されました。

27日、教育委員会臨時会ということで、これは、朝、皆様方にお集まりいただいて開催したものです。その後は、関東甲信越静教育委員会連絡協議会の総会・研修会が開催され、参加しております。

28日、山武北小学校の運動会に出席しております。

30日の校長面談は、先ほどの目標申告に関する校長面談の2日目でございます。

同日、山武北小学校の大関先生がこちらにお見えになりました。内容としましては、そこに書いてあるように、母と女性教職員の会が7月に開催されるということで、そこでの挨拶のご依頼でございました。

31日、一般質問すり合わせとありますが、これは議会の答弁書に関する部内のすり合わせでございます。

6月1日、辞令交付ということで、これは、スポーツ振興課に新たに職員が採用になりましたので、その辞令交付が行われました。その後、千教連の総会、これは千葉県市町村教育委員会連絡協議会でございます。佐倉市民音楽ホールで開催されました。

2日、規模適正化・適正配置基本計画（案）の説明会が、大平小学校で開催されました。

3日は議会の開会日でございます。全員協議会、定例会議、夕刻にはスリランカ派遣団の結団式ということで、行事が重なっていま

した。議会のほうですが、内容につきましては、後ほどの報告事項で教育部長から説明があると思いますが、初日の1号議案として、新制度に伴う新教育長の承認議案が提案され、承認をいただきました。6月24日以降、新制度に変更になります。スリランカの派遣の結団式のほうは、今回10名の団員ということで定員ちょうどで行われます。教育部長が今回団長として行っていただきます。大変心強く思っています。

5日、体力測定、蓮沼スポーツプラザで体力測定会が行われました。これは、今回、回り番で山武市のほうが県にそのデータを出すということで、80名弱集まって開催されました。当日、私も参加したんですが、3日間くらいももの筋肉が痛くて、すねに関しては1週間痛みました。運動しなければいけないなど痛感した1日でした。

7日、庁議が公室で行われ、第3回の校長会議が午後から開催されています。

8日、教育委員会定例会打ち合わせということで、本日の議案の確認をいたしました。

9日、市議会第2回定例会一般質問の1日目ですが、八角議員、並木議員、和田議員、今関議員の4名から一般質問をいただきました。このうち、3名の方から統廃合に関する質問を受けたところです。いろいろとご指摘を受けました。今関議員のほうからは、スリランカ派遣に関する質問でございました。

10日、一般質問の2日目ということで、小野崎議員から子ども会に関する質問を受けております。同日は東上総教育事務所の所長訪問がありましたが、議会の関係で私は欠席させていただきました。

13日は一般質問の3日目でございます。市川議員のほうから読書関係等の質問を受けたところでございます。

14日、山武市観光協会長ほか来庁ということですが、7名の方がおいでになりまして、公室で、市長、副市長、私、それから経済環境部長で対応いたしました。今回、会長が浪川会長になったということでございます。午後には、文教厚生常任委員会が開催されましたが、特に教育部に関する議案はありませんでした。その後、協議会を開催しまして、そこで新制度に関すること、それからブラジルのサッカーチームが7月に来ることについて説明をしたところでございます。

そして、本日のこの定例会ということになります。

以上でございます。よろしく申し上げます。

小野崎委員長 何かご質問ありますか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

小野崎委員長 質問がないようですので、以上で教育長報告を終わりにさせていただきます。

小野崎委員長 議事に入る前に、事前に配布された議事日程の報告事項に1案件追加されました。追加後の議事日程については、机上配布されておりますのでご覧ください。

追加報告は、「報告第8号 山武市教育委員会事務局職員の任免について」です。

それでは、議事に入ります。

本日の議題ですが、議案第3号「山武市教育支援委員会委員の委嘱について」と議案第4号「山武学校のあり方検討委員会委員の委嘱について」報告第8号「山武市教育委員会事務局職員の任免について」は、氏名等の内容が含まれており、公開することにより個人のプライバシーを侵害する恐れがあるため、公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたいのですがいかがでしょうか。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

小野崎委員長 挙手全員。よって、議案第3号、議案第4号、報告第8号は秘密会とします。

◎日程第4 議決事項

○議案第1号

小野崎委員長 議案第1号「山武市教育支援調査研究員設置要綱の制定について」を議題とします。提案理由を学校教育課長から説明願います。

学校教育課長 それでは、山武市教育支援調査研究員設置要綱の制定について提案をさせていただきます。

資料の3ページをご覧ください。提案理由でございますが、地方創生事業「地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業」に係る山武市教育支援調査研究員設置に関し必要な事項を定めるた

めのものがございます。

4ページをご覧ください。要綱の趣旨でございますが、グローバル化が進展する社会において、本市の未来を支える児童生徒の教育に関し、市内の小学校及び中学校の教育課題や今後社会に求められる人材を把握し、その解決や人材育成に向けた教育支援の在り方及び教育支援の中核となる新たな機関の設立に向け、様々な調査研究や支援を実行するための調査研究員として、山武市教育支援調査研究員の設置に関し、必要な事項を定めるものがございます。

第1条でございますが、グローバル化が進展する社会において、本市の未来を支える児童生徒の教育に関し、市内小学校及び中学校の教育課題や今後社会に求められる人材を把握し、その解決や人材育成に向けた教育支援の在り方及び教育支援の中核となる新たな機関の設立に向け、様々な調査研究や支援を実行するための調査研究員として、山武市教育支援調査研究員の設置に関し、必要な事項を定めるものがございます。

第2条、任用でございます。調査研究員は、第5条に掲げる職務に関し、必要な専門的知識及び経験を有する者から山武市教育委員会が選任し、任用するとさせていただきます。

第3条、任用の期間であります。任用期間は、1年間とする。ただし、業務上必要がある場合には、1年を超えない範囲内で、当該任用期間を更新することができる。2、年度の途中において任用された調査研究員の任期は、当該年度の末日までとする。

第4条、身分でございますが、地方公務員法第3条第3項第3号に規定する特別職に属する非常勤職員とします。

第5条、職務ですが、（1）教育支援センターの設立に関する事、（2）山武市集中創生戦略に掲げるグローバル人材の育成に関する事、（3）各学校の課題に関する調査及びその結果の考察並びに課題解決に向けた実証実験に関する事、（4）各学校の課題解決に向けた教育支援に関する事、（5）各学校、行政機関その他の関係機関との連携及び連絡調整に関する事、（6）前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める職務に関する事。

以下、6条に報酬、7条に服務、5ページになりますが、8条には身分証明書、7ページに身分証明書の様式を載せさせていただきます。9条に業務の報告、8ページに報告の様式を載せさせていただきます。以下、15条まで載せてありますの

で、ご覧いただきたいというふうに思います。

以上です。よろしくお願いいたします。

小野崎委員長

ただ今説明がありました、ご質問等がありますか。

私からよろしいでしょうか。教育支援センターの設立について、まだ仮称なのでわかりませんが、具体的に今の教育部の中でいくとどこにどういうふうに入るのかというのがわからなかったのも、まだ仮称でしょうけれども、その構想はどのようなふうになっているのでしょうか。

学校教育課長

それぞれの小中学校で必要とされる人材について調査し、人材センターの設立に向けて取り組んでいきたいと考えます。また、設立に向けて、今現在、各学校での課題や困っていることは何か、その解消に向けての必要なことはどういうことか、どのような人材か、という点についてこれから調査研究していくというようなものでございます。

小野崎委員長

そうすると、今の組織図がありますよね、教育部長がいて、学校教育課長がいて、それで指導室がある。その脇にこういうふうになるというか、そういう図がイメージとして湧かなかったんですが、それはどのようになるのでしょうか。

学校教育課長

失礼いたしました。人材センターは、全く教育委員会としての組織ではなく、最終的には別の組織というもので立ち上げていきたいと考えます。調査研究員については、学校教育課、教育委員会の中の特別職の臨時職ということで入っていただきながら、その中で調査研究を進めていき、最終的にはNPO法人として立ち上げたいと考えます。

小野崎委員長

その他にありますか。どうぞ、五木田委員。

五木田委員

規模というか、予算というか、その辺はどのぐらいなのでしょう。概略でいいです。

学校教育課長

規模は、調査研究員としては、人数的には現段階4名ほどを検討しております。

五木田委員 これは常勤でしょうか。

学校教育課長 勤務については、2人に関しては週3日ずつ、ほか2名については週1、もしくは月1から2の勤務を考えています。1日の勤務は6時間を考えています。

五木田委員 規模が少しわからなかったので、質問させていただきました。
あと、予算については大丈夫なんでしょうか。

学校教育課長 大丈夫です。
大きく言うと、人件費にかかる部分が約700万ぐらいです。あと調査研究含めて300万ぐらいを予定しております。

小野崎委員長 どうぞ。今関委員。

今関委員 例えば、学校が必要とする人材というのは、具体的にはどういう人のことなんですか。

学校教育課長 今、それぞれ各学校で、地域の方々にお力添えをいただいて行っているという取り組みがありますが、そういったものを各学校だけではなくて、山武市全体で何か取り組んでいけたらどうだろうかというようなところから、大きく言いますと、それぞれの学校で取り組んでいるものを市全体で取り組めるような形にできればいいかなというふうには捉えております。

今関委員 ありがとうございます。

小野崎委員長 はい。どうぞ、高柳委員。

高柳委員 学校に人材バンクがありました。それは、登録者を名簿にしておいて、必要な時にお願いをしていたんですよね。それが週3日とかというふうに集まって研究する、いわゆる一つの組織をしとしてつくり上げるということですね。

学校教育課長 最終的にはそのような形ができればと考えます。現段階ではまだ調査研究の段階なので、先ほどお話しした4名の方々にいろいろ部分でかかわっていただきながら、学校の求めている人材、そ

これからこれからの社会が求めていくだらうという人材、そういったものの中で、どういった方が必要になるかという部分の、まずは調査研究ということから入らせていただこうと思います。

高柳委員 よろしいでしょうか。

小野崎委員長 はい、どうぞ。

高柳委員 各学校で、必要だろうと思われる部分を、話し合っていくのですか。

学校教育課長 もう一つ大きな目的としては、山武市に定住する、高校を卒業してしまふとなかなか定住しないで他へ出て行ってしまふ、そのためにやはり働く場所が必要ではないか、山武市の近くには成田空港があり、その成田空港で必要な人材とはどのような人材かといった雇用の部分も含めての調査、取り組みを行っていきたいと考えています。

高柳委員 学校と限るんじゃないくて、市として考えるのですね。

学校教育課長 そうですね。

高柳委員 わかりました。

学校教育課長 大きくはそのような取り組みです。

小野崎委員長 私からもう一つだけ。最初に書いてある、地方創生事業というのは、これはこの事業だけじゃなくてほかの事業も含めて、まとめて申請しましたよね、去年の12月から取り組んでいて。その一環ですから、このプラットホーム形成事業という形で申請をした中身は、ある程度予算づけがされているという理解でよろしいですよ。

教育長 今回のこれは、加速化交付金ということで、決定したものの中でやっていきます。

小野崎委員長 わかりました。

その他にご質問等がありますか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

小野崎委員長 それではお諮りいたします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

小野崎委員長 挙手全員。よって、本議案は原案のとおり可決します。

○議案第2号

小野崎委員長 議案第2号「山武市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について」を議題とします。提案理由を子育て支援課長から説明願います。

子育て支援課長 まず、資料の確認をお願いしたいのですが、議案第2号の資料については、本日配布いたしました別冊になっております。

それでは、山武市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示について説明いたします。

提案の理由といたしまして、私立幼稚園に在園する幼児の保護者に対し、入園料・保育料の負担軽減を図るための補助金に関し、国の定める限度額に合わせ、改正しようとするものです。

山武市では、幼児教育の振興を図るため、私立幼稚園の設置者が保護者から徴収する保育料を減額し、また免除する場合において、その減額、減免額に相当する額の一部に対し、予算の範囲内において補助金を交付しております。

今回の改正の内容は大きく2点ございます。

1点目は、補助対象となる私立幼稚園の定義の改正です。平成27年4月から、子ども・子育て支援制度の施行を受け、平成27年度から幼稚園就園奨励費の国庫補助金対象は、新制度に移行しない幼稚園に通う幼児に対し、市区町村が行う幼稚園就園奨励事業のみとなり、第2条第1項を改めます。

2点目、補助基準及び補助限度額にかかわる改正でございます。本市の補助基準は、国の幼稚園就園奨励費補助金の基準を準用しております。補助基準は、国の幼稚園就園奨励費補助金の交付要綱で定められ、補助限度額は、毎年度通知されております。これまで国から通知を受け、毎年度、市の要綱を改正しております。

第3条第1項に、対象は国の幼稚園就園奨励費補助金の対象とな

る事業、補助金額は、国の定める限度額範囲内と明文化することにより、毎年度の改正が不要となります。

なお、補助金額を国が定める限度額範囲内と改めるため、第3条第2項から第6項までは不要となり、削除いたします。

また、別記様式、別記というのは、そのページの中でいきますと、3ページからの様式、申請書の用紙になります。その4条の申請書、これは窓口で受け付けをしているものですが、世帯区分及び金額というところの、1、2、3、4という数字を打ってあるところが、今まではアルファベットのA、B、C、Dという表記になっておりました。この大きいもので、皆様のお手元には行っていると思います。

16ページから全部、今使っております申請書の用紙になっておりますので。現行のところは、A、B、C、Dというふうにアルファベットを振ってありましたが、改正案といたしましては、1、2、3、4と数字を振るという表記に改めるということになります。

次の17ページになるんですが、現行と改正案の違いというのは、家族状況というところになるんですが、ちょうど申請書の真ん中あたりになるんですが、家族状況というところが、今までは園児と同一世帯ということであり、生計を一緒にしているということだったんですが、それが住民票という世帯は別でも、生計を1つにしていればよいというふうに、幅が広がったものになりました。

それと、次の18ページになります。それは、現行にはないんですが、改正案として一番下の計の上に、上記以外の世帯というように、また違った世帯を入れているようにしてあります。それと、A、B、C、Dという縦の数字も全部1、2、3、4に変わっております。

19ページも同じく、A、B、C、Dが1、2、3、4に変わっているということになります。

20ページも先ほどと同じく、上記以外の世帯というものを、改正案のほうに入れてあります。

21ページも同じく、A、B、C、Dを1、2、3、4と、上と同じ数字に変えたということでございます。

なお、この改正内容につきましては、平成28年4月1日に遡及して適用させていただきます。

以上が、今回の改正内容になります。よろしくお願いいたします。

小野崎委員長

私なりに理解をすると、11、12ページに金額が入っていて、毎年これが変わると。30万8,000円とか27万2,000円とか、11万5,200円、

これがA、B、C、Dで、これは去年見た記憶があります。だから、それが今度は国の基準に基づくということにして、全部削除するという意味でしょうか。そういう理解でいいのでしょうか。

子育て支援課長 今、山武市のほうには私立の幼稚園というのはございません。みんな公立の、むつみのおかと日向の幼稚園になっております。法人の幼稚園、私立の幼稚園というのはないので、今でも山武市にいる園児の方たちは、横芝光町にあります、まさご幼稚園のほうに管外保育というふうに、私立の幼稚園のほうに、山武市の園児がお世話になっているということで、ここである程度、国庫補助そのものの金額が変わるということです。

今のところ、全員で24人、市外のほうの幼稚園にお世話になっています。

小野崎委員長 24人が対象ですか。

子育て支援課長 今の私立の幼稚園というところは、一斉に一律、その園独自で料金を定めている感じで、毎月2万円と料金を決めておまして、それを全部いただくんですね、毎月2万ずつ。その24万円を1年分いただいた中で、10月からある程度、どういう状態の所得だとか、そういうものを申請しまして、翌年の2月にそれだけ国のほうに出したもので、1件幾らというふうにお金を出します。そのときに、幼稚園のほうでお返しをして、園児の保護者の方にお返ししているというような制度になっているそうです。国から来るお金の中の率ということです。それを今度は明文化して、国の中の定める範囲の中でやりたいということになります。

小野崎委員長 国から来るといっても、山武市経由ですものね。

子育て支援課長 そうです。

小野崎委員長 はい。理解しました。

子育て支援課長 だから、少しは皆さんに通知が行くのが早くなるということであって、なので告示をしたりとか、この会でそういうものは今までやっていたと思うんですが、ある程度うちのほうで、山武市のほうから皆さんに通知を出すという作業は変わらないです。

小野崎委員長 ほかにご質問ありますか。
こうなると、毎年金額を変更しなくてもいいということですよ。

子育て支援課長 そうですね。告示というのを今までやっていたんですが、ほかの市町村でも、やはりやっているところとやっていないところがありまして、やはり範囲内とか、これを以内にするとか、いろいろありますが、横芝光町は、一番、私立の幼稚園が多いところなので、通う人数も多いところなので、やはり山武市が今やろうとしている、そういうやり方でやっております。限度額以内というふうに決めてやっております。

五木田委員 保護者の負担が軽減されるようになってきているんですか。

子育て支援課長 はい。それは先ほど言っていた既に27年に始まっております子ども・子育て支援の中で、今、山武市にもあります幼稚園、蓮沼保育園と、あと山武には若杉と日向の保育園というところも、今までは自分たちで保育園の料金を一斉に集めていたんですが、それを全部山武市のほうの新制度に移行したということで、山武市のほうで受け付けもやりますし、保育料も納付していただきまして、それで補助金のほうもその率によって全部一旦お返しするというやり方で、普通の保育園と同じやり方でやっているんです。

小野崎委員長 公立と同じような対応になるということですよ。

子育て支援課長 そうです。初めから補助する金額を引いた金額で保育料を払うものと、後でお返ししますというやり方だと、極端に言えばこういうやり方だと思います。

小野崎委員長 わかりました。
その他にご質問等はありませんか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

小野崎委員長 それではお諮りします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いします。

(全員挙手)

小野崎委員長 挙手全員。よって、本議案は原案のとおり可決いたします。

小野崎委員長 ここから秘密会とします。

○議案第3号

(議案第3号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

小野崎委員長 議案第3号「山武市教育支援委員会委員の委嘱について」を議題とします。提案理由を学校教育課長から説明願います。

学校教育課長 資料に基づき、委嘱する15名について説明。

※審議結果 原案のとおり可決。

○議案第4号

(議案第4号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

小野崎委員長 議案第4号「山武市学校のあり方検討委員会委員の委嘱について」を議題とします。提案理由を教育総務課長から説明願います。

教育総務課長 資料に基づき、委嘱する20名について説明。

※審議結果 原案のとおり可決。

小野崎委員長 ここで一旦、秘密会を閉じます。

○議案第5号

小野崎委員長 議案第5号「学校施設環境改善交付金交付要綱に基づく施設整備計画の事後評価の報告について」を議題とします。提案理由を教育総務課長から説明願います。

教育総務課長 それでは、議案第5号についてご説明を申し上げます。

まず、21ページをご覧ください。学校施設環境改善交付金交付要綱の第8の1に基づき、地方公共団体は、計画期間の終了時に施設整備計画の目標の達成状況等について評価を行った上で公表及び文部科学大臣に報告しなければならないと規定されております。

学校施設環境改善交付金の事業として、山武市の公立学校施設整備計画では、22ページから25ページまでのとおり、こちらが計画でございます。平成25年度から27年度までの3年間を計画期間として事業計画をいたしました。これらの事業について工事が完了いたしましたので、事業評価が必要であるということから、16ページから19ページのとおり、事後評価を行ったものでございます。

それでは、申しわけありません、もう一度、24ページをご覧ください。こちらは文部科学大臣宛てに提出した計画書でございますが、①地震、津波等の災害に備えるための整備として、大規模空間を有する屋内運動場について、つり天井の撤去などにより非構造部材の耐震化を図るとして、松尾中学校、蓮沼中学校を計画いたしております。

なお、計画期間の途中で交付金活用の事業が拡大になったということで、本日お配りさせていただきましたクリップでとめてある資料なんですけれども、様式3が、拡大になったものを含めて計画されているものとなっております。今、蓮沼中学校と松尾中学校と言いましたけれども、一番下から3番目、蓮沼小学校についても、この計画の対象となりました。この資料に記載されている事業全てが、この3カ年間で交付金を活用して整備した事業となります。

それでは、この事業が実施されたかどうかということで、もう一度、16ページをあけていただいでよろしいでしょうか。

16ページの1番、公立の義務教育諸学校等施設の整備に関する目標の達成状況についてということで、①地震、津波等の災害に備えるための整備。そして、達成状況は、計画どおり実施できたと。耐震化率の目標に対する達成状況も、100%と評価しております。

それについては、先ほどのこちらの細かい資料の中の左から2番目、整備区分①となっております。蓮沼中学校、松尾中学校、蓮沼小学校、この①の部分が全て工事が完了したということで、計画どおり実施できたと評価しております。

所見のところには、26年度に実施した事業、27年度に実施した事業が記載しております。それと、先ほどのクリップでとめたものの後ろに水色のマーカーとピンクのマーカーが左にあります。こちらは26年度、教育委員の皆様にも点検、評価をしていただいた事業を記載してあります。27年度、これからまた点検、評価を行っていただくわけなんです、このピンクのラインが27年度に実施した事業でございます。

それらを確認していただきまして、事業が実施できたかどうかと

ということで、お諮りをしたいと思っております。それが、①のところの地震、津波等の災害に備えるための整備。

さらに、17ページの③教育環境の質的な向上を図る整備といたしまして、こちらも達成状況は、計画どおり実施できたと評価しております。

こちらも先ほどの小さいものの③の3つ計画した事業が、計画どおり工事が完了しているかどうかということで確認をしていただきたいのですが、それについても、評価点検シートで確認をしていただきたいと思っております。この事後評価表は公表することとなっておりますことから、本日の教育委員会会議でご承認いただいた後、市のホームページで公表することになります。

説明は以上です。

小野崎委員長 ただ今、説明がありましたが、やった内容については、いつも評価されていますので大丈夫かと思っております。ただ、ここに書いてあるように、教育委員会定例会で確認をした後に、文科省に提出して、それで公表という段取りということですね。

教育総務課長 そのとおりです。市のホームページに掲載させていただきたいと思っております。

小野崎委員長 その他ありますか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

小野崎委員長 それではお諮りします。本議案に賛成する委員の挙手をお願いします。

(全員挙手)

小野崎委員長 挙手全員。よって、本議案は原案のとおり可決をします。

◎日程第5 報告事項

○報告第1号

小野崎委員長 それでは、続いて報告事項に入ります。

報告第1号「山武市議会第2回定例会の報告について」教育部長から、報告願います。

教育部長 それでは私のほうから、議会について報告させていただきます。

27ページは議運の資料でございます。議運にはこれで提案したところですが、議案2号の教育委員会の任命につき同意を求めることについての議案を提案しなかったということで、最終的には今お配りしました議案の表のとおりになっております。

それでは報告についてですが、まず29ページをお開きください。29ページの下段です。一般質問の予定日ということで、6月9日に八角議員、並木議員、和田議員、今関議員、10日に小野崎議員、13日に市川議員という形で進めていきました。

30ページでございますが、八角議員からは小中学校の統廃合の計画と教育行政について、並木議員からは教育行政について、和田議員からも学校の統廃合について、今関議員からはオリ・パラについて、小野崎議員からは子ども及び青少年の育成について、最後、市川議員です。一番下でございますが、読書施策についてということで質問が出ております。

質問の内訳でございますが、31ページをお開きください。

まず、八角議員でございます。小中学校の統廃合計画と教育行政についてということで、質問の要旨としましては、教育委員の後任を選任しなかった理由、また、今後、欠員のままでいくのか、早く教育委員を選出してほしいという内容でございました。また、基本方針をもとに、住民の意見を聞き、その上で基本計画を策定すべきではないか、学校の位置と具体的な内容が変更された経緯については、市長が行き過ぎた介入であり、これまでの担当の人件費をかけてきた内容を変更したのではないかというような質問でございました。また、リーフレットでございますが、千葉日報にもありましたが、教育委員会の議決前に配付されたことについて無効ではないかというお話をいただきました。

次に32ページの並木議員でございますが、こちらにつきましては、規模適正化、適正配置について早急に進める必要があるのかというご質問でした。住民に、より時間をかけて説明してほしいという内容です。また、成東中学校の単独での建てかえ等は検討したのかというお話もありました。さらに山武西小学校でございますが、夏祭り等コミュニティーの場ともなっているので、より地域の意見を聞いてほしいという内容でした。

続いて33ページ、和田議員です。和田議員からは基本計画の説明会の開催状況、そして、市長部局に対して、人口増加策は手を打っているのかという話、さらに成東中の検討経緯と成東地区から教育委員を選出しない理由等について質問がありました。

34ページ、今関議員ですが、オリ・パラの中のスリランカ青少年派遣事業についての質問です。この内容でございますが、スリランカ青少年派遣事業に関して、外務省の海外安全ホームページというのがございます。ここで国ごとに危険度等を外務省のほうで示しているのですが、スリランカについてはレベル1となっています。ニュージーランド等は空白地帯で特に指定がないような状態です。もちろん日本もついてない。

それで、スリランカについてはレベル1と2に指定されています。レベル1の定義なんですけど、スリランカのほぼ全域が、危険を避けて行動するよう注意が必要な地域として、レベル1という段階になっています。レベル2なんですけど、十分安全な措置を講じる必要のある地域として、スリランカの北部の一部が指定されています。ここは、内戦のときの地雷の処理等がまだ残っているのでレベル2という形で指定されて、そういう状況の中で、市としまして、スリランカの日本大使館やJICAの現地事務所に確認をしつつ進めているところです。また、保護者同席の説明会でこのような状況ですというのを今回説明してあります。その上で参加していただくという形で進めています。

小野崎委員ですが、36ページになります。小野崎議員からは青少年の育成についてということで、育成に関する各種支援事業、主に子ども会への質問でございます。

地区子ども会の現状についてということと、地区子ども会への市から支援がどのような状況になっているのかというお話でした。現状としまして、廃品回収の奨励金26万円が出ているだけなんですけど、これに加えて、今後、補助や支援を行えないかという要望でございました。

最後、市川議員ですが、41ページになります。福祉施策の中の脳脊髄液減少症についてということと読書施策について、この2点が質問事項でした。

まず、脳脊髄液減少症に関して、ブラッドパッチという療法が今年度から保険適用になりました。市内の対象者の有無とあわせ、教育委員会としての取り組み状況の確認と、あわせて周知に努めるように要望等がございました。過去、本市において、小中学生では、こちらの対象者はいませんでした。そういう状況でございます。

それで読書施策についてでございますが、市川議員から国際子ども図書館を視察し大変感銘を受けたと、その前提の中のご質問になっています。第三次読書活動推進計画の策定状況について、現在、

素案を作成しているところで、今後、各課調整を経て、今年度中にはこちらに計画を上げる予定です。また、本市における図書館や学校図書館の蔵書数やほかの図書館からの借り受け状況について、ご質問がありました。また、児童生徒の図書館視察状況、最後に図書館通帳の進捗状況について、ご質問があったところです。これについては通帳のかわりになるような事業を行っていますので、そちらを決めていって、事業を推進していきたいと答弁をしているところです。

なお、答弁内容については、今、議会事務局のほうで議事録を作成しています。答弁の詳細については、そちらを後日お渡ししたいと思いますので、よろしくお願いたします。

以上です。

○報告第2号

小野崎委員長

報告第2号「平成27年度学校評議員事業報告について」学校教育課長から、報告願います。

学校教育課長

それでは学校評議員の報告について、42ページをご覧ください。

5月に行われました定例会で評議員の承諾をいただきました。ありがとうございました。27年度の小中学校の成果と課題の報告ができませんでしたので、報告をさせていただきます。

42ページ、43ページに各学校の成果と課題を載せさせていただきます。なお、評議員の実施回数ですが、2回実施したという学校が5校、3回実施という学校が8校、4回実施が4校、5回実施が1校、最大7回という学校、松尾中学校ですが、1校ございました。

成果と課題ということで幾つかお話をさせていただきます。

成果としては、年度当初に会議を開催したことで、経営方針、具体的な方策等の理解を得ることができた。学校行事に合わせて開催した。子どもたちの様子を見てもらうことができた。建設的な意見をいただくことができた。学校から地域に情報を発信し、地域の情報を学校に寄せていただいた。学校の評価について意見をいただき、成果と課題が明らかになった。昨年度と同じ行事を見ていただいて、子どもたちの成長を感じてもらえた。中学生の保護者を委員としてお願いをした。

課題としましては、学校評価から安全に関すること、これは登下校について、学校、保護者、地域で共通理解のもと取り組んでいく

必要がある。また、委員会で話し合われた内容を有効に活用するため、地域の方々へ周知するための手だてを検討したい。会議のあり方を工夫したい。来校しやすいような形をとりたい。また、参観の場をもっと多く設けたい。継続して意見をいただきたい等々が上げられております。

なお、次年度の報告については、昨年度の課題をもとに評価をお願いしたいと思っております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

小野崎委員長 何か聞きたいことはありますか。

今関委員 この実施回数は、どうやって決めているんですか。学校ごとの評議員さんたちで決めているんですか。

学校教育課長 これは評議員の中で、話し合いを行い、それぞれの学校で回数、日時等を決めております。

今関委員 ありがとうございます。

小野崎委員長 せっかく学校評議員が決まっているんですから、積極的に意見をもらったほうがいいですよ。

学校教育課長 なお、報告様式等については、統一させていただいております。この成果と課題については、報告書にはもっとたくさん書いてありますが、要点だけをまとめさせていただきました。

小野崎委員長 希望とすると、一方通行で終わらないほうがいいと、どこかで言われました。学校側から説明して、評議員さんからもいろいろな意見を、地域の意見を聞くという形があったほうがいいかなど。説明で終わっちゃって、するのではという話を、どこかで聞いたような気がしましたので、また校長会でも、ぜひ評議員の皆さんの意見をたくさんいただくように配慮いただくとありがたいと思っております。

高柳委員 この文章をざっと見ると、評議員からいろいろな意見を出してもらっているようです。学校の理解が得られたとか、情報を寄せてくれたとか、いろいろとプラス面も出ているようなので、さらに今の意見を入れていくといいと思います。有効に働いているのではないかと

と思います。

○報告第3号

小野崎委員長 報告第3号「山武市小学校陸上競技大会結果について」学校教育課長から、報告願います。

学校教育課長 それでは44ページをご覧ください。雨天のため1日ずらしまして、5月18日に成東総合運動公園で行われた結果でございます。

横にさせていただきますと、右側に5年生の結果、左側に6年生の結果が載っております。6年生は、総合優勝が成東小、2位が睦岡小、3位が山武北小です。5年生ですが、総合優勝が蓮沼小、2位が南郷小、3位が睦岡小という結果になっております。

なお、45ページ、46ページには個人の結果を載せてありますので、ご覧になっていただければと思います。

以上です。よろしくお願いいいたします。

○報告第4号

小野崎委員長 報告第4号「山武郡市小学校陸上競技大会結果について」学校教育課長から、報告願います。

学校教育課長 それでは続きまして、47ページ、6月7日、横芝光町の坂田池陸上競技場で行われました小学校陸上大会の結果でございます。真ん中あたりから右側の、成東小から蓮沼小というところが山武市の学校の記録でございます。

主なものは47ページの右側の男女総合というところで、成東小が3位になっています。女子では優勝が成東小、3位に大平小が入っております。リレーでは6年生女子で成東小が優勝という結果であります。

48ページ、49ページに個人の記録を載せてございますが、これについては48ページのほう、5年生の80メートルハードルと100メートル走で蓮沼小の伊橋君が優勝、6年生の80メートルハードルと100メートル走で大富小の芹川君が優勝、80メートルハードルは田辺君が準優勝ということと、あと48ページを横に見ていただいて、下の一番左になるのですが、6年生男子1,500メートルで山武北小の鈴木君が優勝ということになっております。

続いて49ページを見ますと、女子ですが、6年生の女子で、成東小の柳町さんが80メートルハードルと100メートル走、ともに優勝

ということです。あと、6年生女子の走り幅跳びで大平小の行木さんが優勝、6年生女子ソフトボール投げで成東小の高野さんが優勝、それから6年生女子の800メートル、緑海小の古川さんが優勝。女子の800メートルでは、1位と5位と6位と7位ということで、山武市の学校が結構入っております。

なお、6年生女子のリレーは成東小が優勝で、2位が大平小ということで、女子のほうは大分、成績、頑張っているというところがございます。

○報告第5号

小野崎委員長

報告第5号「平成28年度山武市少年海外派遣事業申込状況について」生涯学習課長から、報告願います。

生涯学習課長

50ページをご覧ください。こちらは「平成28年度山武市少年海外派遣事業申込状況について」ということで、ニュージーランドの派遣でございます。

5月31日火曜日に応募を締め切りましたものでございまして、表には参考までに27年度、26年度を記載させていただいております。中学生が18名、高校生が4名、計22名の応募がありました。

内訳は、成東中学校が2年生8名、成東東中学校が2年生2名で、3年生が3名、計5名、山武南中学校が2年生1名、蓮沼中学校が2年生3名、松尾中学校が2年生1名。男女の区分で言いますと、男子が7名、女子が11名の計18名でした。高校生4名の内訳でございますけれども、成東高校が1年生と2年生から各1名、成田国際高校から1年生が1名、四街道高校から3年生が1名で、こちらの男女区分は男子が1名、女子が3名の計4名でした。

応募人数22名に対して、派遣する研修生は、要綱でも定めておりますが18名であることから、4名のオーバーとなりました。応募いただきました22名については、先週土曜日、6月11日に全員の面接を、団長である成東中学校の金親教頭先生、学校教育課の織本指導室長と私どもで実施いたしました。

研修生の決定については、6月24日金曜日をめどに郵送する計画です。

その後につきましては、7月6日水曜日の結団式及び第1回の事前研修を経まして、第2回が7月23日金曜日、第3回が8月3日水曜日、第4回が8月10日水曜日の研修によりまして、充実した派遣準備を整えます。そうしまして、8月16日火曜日から23日までニュ

ーギーランドの研修の実施になるところでございます。
報告は以上でございます。

○報告第6号

小野崎委員長 報告第6号「行事の共催・後援について」教育総務課長から、報告願います。

教育総務課長 51ページをご覧ください。報告第6号「行事の共催・後援について」ということで、5月1日から5月31日までに承認したものについて記載してございます。

行事の共催は9件でした。2番目の行事の後援は4件でございました。いずれも基準どおり適正であったため、承認してございます。

申請書については、52ページから65ページまで添付してございますので、ご確認のほうよろしくお願いいたします。

以上でございます。

○報告第7号

小野崎委員長 報告第7号「7月の行事予定について」各所属長から、報告願います。

※出席した各所属長から7月の行事予定について報告。

○その他

小野崎委員長 報告第8号は秘密会になりますので、その他の報告が終わってからといたします。

では、その他の報告を松尾公民館長から、報告願います。

松尾公民館長 この別刷りの資料をご覧ください。1枚刷りで今日配付しました公営塾イメージプラン概要と書いてあります。

昨年、市民自治支援課のほうで平成27年度に行うということで動いていた事業だったんですけれども、諸般の事情から、年度途中から松尾公民館で行うことになりまして、計画しておりました。加速交付金がつきましたので、28年度の事業ということで6月10日に第1回、説明会と称してスタートいたしました。

公営塾をやろうというそもそもの背景としては、日本の人口減少問題から自治体の存続危機、地元高校の存続の危機というような形で、じゃ、それでどうしたらいいかということで地域の高校はどう

あるべきか、地域と高校はどう連携すべきかということで、魅力化によって高校の生き残りや地域活性化ができるのではないかとということでスタートいたしました。

この公営塾の基本的な考え方ですけれども、生徒が主体的、探究的に学ぶ施設、社会が大きく変化しても生き抜く力を育成する、コミュニケーションとプレゼンテーション能力の向上、グローバルなビジネスと社会課題解決への入り口、多様な連携が必要、このような項目を上げさせていただきました。

目指す松尾高校生徒と公営塾の姿ということで、松尾高校の校訓、それから教育方針をインターネットで調べさせていただきましたけれども、未来は人間の手の中に「自主・誠実・創造」が校訓となっています。教育方針が、心身ともに健康で活力ある生徒を育てる。自主的・自発的な学習を行い、みずからの人格の陶冶を志す人を育てる。それから勤労をたっぴ、社会に貢献できる人を育てる。このような校訓と教育方針、それから公営塾の理念というか、考えていたものをあわせて、自主的に学んで、人格を高めて、地域社会に貢献できる生徒を出すということで動きました。

具体的には、地域を愛して、高校や大学、専門学校卒業後は地元で貢献できる生徒が増えると、受験テクニックの指導にこだわらず、考え方や生き方の学習を中心に、地域とのコミュニケーションを通じ、自分たちの将来を考える力、地域の魅力発見力を養い地元で根ざした人材育成を行う。また生徒同士、講師となった地域の人々と生徒がお互いに学び合う場として活動していくという形で定めております。

実施概要としまして、裏側、お願いします。松尾高校生とともに育てる学びの場、成長する公営塾をメインコンセプトとして、松尾高校生と一緒に、どのような学びの場として、何を学ぶのかを定期的に話し合い、グランドデザイン、ルール等を考えて、公営塾運営支援委託により、松尾高校の現状分析及び将来展望に必要な長期化分析を行った上で、学習メニュー等を構築するという形で、委託先はイング総合計画株式会社、斉藤マネージャーの会社です。

先ほども申し上げたとおり、6月10日、先週の金曜日に説明会を行いました。全校生徒と先生に1枚ずつチラシを配付いたしました。校長先生もブログ等に載せてくれて協力していただきましたが、とりあえず男子1名と女子3名が参加してくれました。

それでちょっと少なかったのが、毎週金曜日、斉藤マネージャーがこちらに来館して指導してくれるということだったので、金曜日

に行うつもりだったんですけれども、この男子1名が友達を連れて、昨日、急遽来てくれまして、職員の時間外で対応しました。静かだし、エアコンも入っているし、パソコンもあるし、学習するには最高の環境だということで、今後は当面の間、マネージャーの会社で、地元の人でやってくれる人を探すまでの間は、職員とシルバー人材で乗り切って、2学期からは本格的に動いていただきたいと思いますところなんです。

支援としては、改善センターの生活研修室、パソコンができるようにして、きれいに整備をいたしました。講師につきましては、今申し上げたとおりイング総合計画株式会社に委託をしております。

あと講座ですけれども、地域力創造アドバイザーの前川進介さんを中心に、ロジカルシンキングの先生なんですけれども、非常におもしろい話をしてくださいまして、今年度中に何回かお話をさせていただく予定です。あとは市内で、例えば片岡さんとか、ああいう歴史とかいろいろ語れる人とか、太巻き寿司の先生とか、そういう方をお願いして地域を学んでいただく予定です。将来的にはゴールデンエイジアアカデミーから講師を派遣してもらい指導してもらおうとか、千葉大学や城西国際大学等の留学生や学生さんと活動していきたいと思っています。

あとはインターネット予備校、スタディーサプリというような名称の、個人が登録すると使えるものがあるんですけれども、そちらを公民館のパソコンを使ってログインして、それぞれの好きなものができるということで、インターネットも快適に動くということで動画に対応するよう有線LANで整備しました。

こちらに財源が書いてありますけれども、今年度、加速化交付金ということで、委託料で約600万ついております。

課題なんですけれども、利用者の増加と定着化です。今回4人しか来なかったし、昨日も2人来てくれましたけれども、お部屋がそんなに広くないので100人とか来ちゃうと困るんですが、流動的でもいいので、ここで学びたいという子が10人か20人ぐらい来てもらえるように、定期的にチラシなどを作成して対応します。昨日も1回目こうでしたよというチラシを550枚つくって学校に置いてきましたけれども、今日配付されているところです。

今後、自分でやる、自習するところを基本にしていきたいということで、ほかとは違う、この公営塾の魅力をアピールしていきたいと思っています。

あと松尾高校とは、昨日もダンス部の子たちが練習に来てくれま

したけれども、協力的な関係が築けていて、今、公営塾に関しても校長先生のブログに直接載せてくれたり、チラシを配ってくれたり、それで10日に校長先生が出張の前にお見えになって、人がいないからと、事務長に連絡して事務長が来てくれたりとか、非常にいい関係を築けておりますので、今後とも、遊びに来た生徒とも声かけをしながら連携を密にしていきたいと思っています。

あとは2学期以降です。平日の自習を見てくれる人、この人材を探していきたいと思っています。

見学大歓迎ですので、ぜひ金曜日の夕方に来ていただければ、4時から開いています。よろしく申し上げます。以上です。

小野崎委員長 ありがとうございます。これはグローバルハイスクールの一環ですか。それらとは別ですよ。

松尾公民館長 別仕立てです。

小野崎委員長 そうですね。

松尾公民館長 そもそもが高校の魅力化というところから始めていますので。

今関委員 チラシもいいけど動画のほうが高校生とかは好きかもしれない。こんな話をしていますみたいな動画を、何か、大変だけど。

松尾公民館長 大丈夫です。情報管理係から異動してきた職員がおりますので、できるかどうか、相談してみます。

今関委員 目で見てこんなことをやっているというのが、動いているほうがあれかもしれないですね。お願いします。

松尾公民館長 ありがとうございます。

小野崎委員長 では、そのほかで山武市教育委員ジャーナルについて、学校教育課指導室長から、報告願います。

指導室長 それでは私のほうからですが、ジャーナルの、ちょっと古くなっておりますが、5月中旬から、それぞれの学校での校外での学習が、現在極めて盛んに行われているという状況であります。

ご存じのように、先月、スリランカ大使が山武南中のほうを訪問した際の写真を1枚掲載させていただきました。右側の真ん中ら辺のネクタイをしめている方が大使で、左側で牛乳を飲んでいるのが市長であります。そのような写真を載せさせていただきました。

それから下のほうにいきまして、教育委員さんにもご協力いただいた運動会、体育祭ということで、前半というか、この春の段階で、小学校5校、中学校1校の運動会、体育祭が終了し、残り13校は秋の運動会、体育祭となっております。

3つ目の情報ということで、真ん中に体験入学の受け入れということで、これは小学校のほうでアメリカに在住していて、お子さんが小学生で、ちょうど向こうが終わって、しばらくの期間があつて、こっちに戻ってくる間に、1週間でも2週間でも、それぞれ日本の小学校を体験したいという申請が3人ほどあつたということで載せさせていただきます。

最後、4番目として、文部科学省から次期の学習指導要領という部分で、小学校にプログラミング教育を入れるという記事が載っておりますので、これからそれについての対応等も小学校で必要になってくるかなということで話題として載せさせていただきました。

私のほうからは以上です。

小野崎委員長

ありがとうございます。

1つだけよろしいでしょうか。小学校の統合計画があるところで、早目にこういう行事を1つ2つやってみたらどうかという意見を聞いたので、何かそんな企画があつたら、またおもしろそうだなと思います。

その他、ほかにありますか。

五木田委員

報告とお礼です。

皆さんのおかげで、5月20日、山武地区の協議会の会長を東金市に無事バトンタッチをしました。それから、それが終わって、5月27日、八王子市で千葉県の代表として、鈴木大地スポーツ長官に直接質問をして握手をして帰ってきました。それから、6月1日、地教連、千葉県の連絡協議会の副会長についても無事終わりました。ほっとしているところです。プレッシャーがありましたけれども、事務局がサポートしてくれて、いろいろやってくれましたので助かりました。厚く御礼申し上げます。無事終了で、5月のときよりもずっと気持ちが軽くなりました。ありがとうございました。

小野崎委員長 ご苦労さまでした。
 その他、皆さんからありますか。なければ10分の休憩をして再開
 いたします。休憩後は秘密会ということで始めます。

休憩 午後 3 時10分～ 3 時20分

○報告第 8 号

(報告第 8 号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

小野崎委員長 それでは、ここから秘密会とし再開します。
 報告第 8 号「山武市教育委員会事務局職員の任免について」教育
 総務課長から、報告願います。

教育総務課長 資料に基づき、山武市教育委員会事務職員の任免について報告。

小野崎委員長 これで秘密会を解きます。

小野崎委員長 閉会前に報告漏れ等はありませんか。
 なければ、以上をもちまして、教育委員会第 6 回の定例会を終了
 させていただきます。皆さんご苦労様でした。

◎閉会 午後 3 時25分